

アセスメントで把握した情報をもとに判断します。

自立した日常生活の程度※1 (心身の状態、環境等)		④	⑤	⑥	利用者及び家族の 生活に対する意向
状況の事実※1		現在 ※2	異因 ※3	改善/維持の可能性 ※4	備考(障害内容等)
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	見通し ※5
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			(二一ス)【本】
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助			
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助			
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			優先順位※6
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助			
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助			
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助			
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助			
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助			
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助			
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助			
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助			
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助			
買物		自立 見守り 一部介助 全介助			
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			
認知		支障なし 支障あり			
社会との関わり		支障なし 支障あり			
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			
居住環境		支障なし 支障あり			

手引きP.256～

ADL/IADLについては「自立」以外に○印を記入した場合、それ以外の項目について、「支障あり」に○印を記入した場合は、必ずその具体的な状況を備考欄に補記する。

○「状況の事実」の「現在」欄

この欄には、事前に利用者宅の訪問や利用者・家族との面談、関係者や他の専門職からの申し送り等で把握した情報(事実)に基づき、各項目について、それぞれ日常的にしているかどうかを判断し、「自立」「見守り」「一部介助」「全介助」(項目によっては「支障なし」「支障あり」)のいずれかに○印を記入する。

「見守り」は「見守りや声かけを受けるが、一連の動作のほぼ全てを支障なく実施している」、「一部介助」は「一連の動作の一部について介助を受けて行為を実施している」、「全介助」は「一連の動作の全てあるいはほぼ全てについて介助を受けて行為を実施している」ことを目安とする。

課程整理總括表

利用署名

作成日

手引きP.257～

自立した日常生活の自立度※1		①		②		③		利用者及び家族の生活に対する意向
(心身の状況、環境等)		④		⑤		⑥		
状況の事実※1		現 状		経過・経過の可能性 ※4		備考(状況・経過等)		現況し ※5 生活全般の向上すべし等
王姓男		王姓男		経過 経過 悪化				

○「自立した日常生活の阻害要因（心身の状態、環境等）」欄

収集した情報に基づき、**利用者の自立を阻害している根本的な要因**、特に「状況の事実」の「現在」欄で「自立」あるいは「支障なし」以外が選択されている項目の要因を分析した上で、より根本的で重要な要因を**最大6項目程度に絞り込み**、「自立した日常生活の阻害要因」欄に記載する。

なお、本欄に振られている番号は便宜的な通し番号であり、要因の重要度等による優先順位を示したものではない。繰り返しになるが、課題整理総括表は、情報の収集・分析が終わった後に作成することを想定しており、本様式を作成する前に、介護支援専門員として、利用者の自立した日常生活を阻んでいる要因を具体的に捉えられていることが求められる。

なお、要因として疲患が捉えられる場合も多いと考えられるが、疾患それ自体だけでなく疾患に応じた療養や健康管理が十分にできていないという状況が生活に影響を及ぼすものである。つまり、本欄には疾患名だけでなくその疾患に応じた療養や健康管理等も含めて整理し、必要に応じて記載することが望ましい。例えば、要介護状態となった原因疾患が「糖尿病」である場合で言えば、糖尿病そのものは診断名であって、むしろ糖尿病の管理ができないこと、例えば「食事管理ができない」ことや「インシュリンの自己注射の管理ができない」ことが要因として記載されることとなる。

また、生活の状況には利用者の心身の状態だけでなく、生活の環境(住環境等の物理的なものだけでなく、家族関係等の社会的な環境も含む)も影響する。したがって、利用者の心身の状態のほか、環境に関する要因が含まれる場合もありうる。

なお、本欄には、利用者の心身の状態あるいは生活の環境等について、客観的事実を記載する。客観的事実を記載することが困難な場合は、引き続き情報の収集・分析が必要である。

課題整理総括表

利用者名

作成日

手引きP.258～

自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態・環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現 在 ※2		要因 ※3	備考状況・対応可否等	
阻害要因	主たる阻害要因	自立	見守り	一部介助	全介助	変更 維持 悪化
	副次的阻害要因	自立	見守り	一部介助	全介助	
食事	食事の摂取	支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	食事の摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	改善 維持 悪化
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助	
排泄	排泄の排泄	支障なし	支障あり			
	排泄の排泄	自立	見守り	一部介助	全介助	
口腔	口腔衛生	支障なし	支障あり			
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助	
	睡眠	自立	見守り	一部介助	全介助	
	入浴	自立	見守り	一部介助	全介助	
	更衣	自立	見守り	一部介助	全介助	
	掃除	自立	見守り	一部介助	全介助	
	洗濯	自立	見守り	一部介助	全介助	
	整理・物品の管理	自立	見守り	一部介助	全介助	
	食料管理	自立	見守り	一部介助	全介助	
	運動	自立	見守り	一部介助	全介助	
	コミュニケーション能力	支障なし	支障あり			
	認知	支障なし	支障あり			
	社会との関わり	支障なし	支障あり			
	持病・服薬の問題	支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	行動・心理状態(PD)	支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	介護力・家族関係等	支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	認知機能	支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
						改善 維持 悪化

○「状況の事実」の「要因」欄

「状況の事実」の「現在」欄で、「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、その要因として考えられるものを、「自立した日常生活の阻害要因（心身の状態・環境等）」欄から選択し、その記載した番号（丸数字）を記入する。複数の要因が考えられる場合は複数の番号（丸数字）を記載して良い。

本欄の記入は、前項「自立した日常生活の阻害要因」欄の内容と関連することから、「要因」と「自立した日常生活の阻害要因」欄は相互の整合性を確認しながら、記入と修正を進めることが望ましい。

課表整理總括表

利用署名

作成日

手引きP.258～

自立した日常生活の自立状況 (心身の状況、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 手引きP.258～ </div>
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現 在 ※2		原因 ※3	改善/回復の予見性 ※4	備考(状況・支援内容等)
認知	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		認知 悪化	
	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		認知 悪化	
食事	食事摂取		食障なし 食障あり		食事 悪化	
	食事摂取	自立	見守り		食事 悪化	
	食事摂取	自立	見守り		食事 悪化	

○「状況の事実」の「改善/維持の可能性」欄

「状況の事実」の「現在」欄で、「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、現在の認定有効期間を見通して、必要な援助（介護保険サービスだけでなく、インフォーマルな支援を含む）を利用した場合に「現在」の状況が**改善/維持する可能性の有無**を検討し、「改善」「維持」「悪化」のいずれかに○印を記入する。

なお、介護保険法では、保険給付は「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資するよう行われる」とされている。したがって、「悪化」が見込まれる場合においても、本欄を記入するにあたり、その分析の過程で「維持」の可能性も十分に検討することが重要である。

この欄は、主治医意見書等の多職種からの意見を踏まえた上で、あくまでも専門職たる介護支援専門員としての判断に基づいてその考えを記入する。なお、ここでどのような可能性を選択したかを以て、その介護支援専門員の判断の良し悪しを評価するものではない。むしろ、ここで判断した可能性に基づいた上で、利用者・家族の生活を支えていくために必要な課題と援助内容を整理することこそが、介護支援専門員の専門性に期待されることである。

			印書 送付 取付				
--	--	--	----------	--	--	--	--

手引きP.258～

この欄には、「状況の事実」欄の「現在」あるいは「改善/維持の可能性」に関して補足すべき情報を記入する。例えば、「現在」欄において「支障あり」とした場合にその具体的な支障の内容を補記したり、「一部介助」や「全介助」とした場合に支援の内容を補記したりすることが考えられる。また、「改善/維持の可能性」欄において「維持」や「悪化」が見込まれる項目に関して、現在利用しているサービス内容や必要な生活環境を補記するといった活用も考えられる。さらに、「改善/維持の可能性」に関して、なぜそのような可能性があるかと判断したかの根拠を補記することも有効である。介護支援専門員が、利用者の状況をどのような方向性で捉えているか、その判断根拠（利用者本人の心身の状況や生活の環境だけでなく、家族等から援助を受けて日常生活を送っている場合の具体的な援助内容や介護者が有する介護知識の状況等）を記入し、それをサービス担当者会議等で共有することで、チームケアに参加する個別のサービス担当者が、利用者・家族等の状況や総合的な援助の方針を理解しやすくなることが期待される。

課題整理総括表

利用者名

作成日

手引きP.259～

自立した日常生活の自立要因 (心身の状況、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	
		④	⑤	⑥		
状況の事実※1		現 在 ※2		要 因 ※3	改善/維持の可能性 ※4	備考状況・対応不内容
課題	生活行動	自立	見守り	一部介助	全介助	見直し ※5
	生活行動	自立	見守り	一部介助	全介助	
	生活行動	自立	見守り	一部介助	全介助	
	食事・排泄	支障なし		支障あり		
					生活全般の改善すべき課題	
					【ニーズ】【案】	【案】

○「見通し」欄

本欄には、「利用者の自立した日常生活を妨げている要因」の解決に向けて、多職種からのアドバイスを受けて、当該ケアプランの短期目標の期間を見据えて、「**どのような援助を実施することにより**」(要因の解決のために必要と考えられる援助内容)、「**状況がどのように変化することが見込まれるか**」(援助を利用した場合に到達が見込まれる状態)を記入する。

本欄にはこれから実施しようとする援助による改善や維持の予測を記入することから、本欄の記載内容は、あくまでも介護支援専門員として判断した仮説を記載することになる。他の介護支援専門員や他の職種と共有した際に分かりやすく簡潔な内容とするため、「要因」ー「要因の解決のために必要と考えられる援助内容」ー「援助を利用した場合に到達が見込まれる状態」を、一つの「要因」に対して数行でまとめることを目安とすると良い。なお、介護保険法に掲げられている「要介護状態等の軽減又は悪化の防止」という考え方に沿って言えば、まずは「改善/維持の可能性」欄において「改善」に○印をつけた項目について、その項目の「要因」を解決するための見通しを必ず記入することが重要である。そのうえで、「維持」や「悪化」に○印をつけた項目のうち、特に取り組むべきと考えられる項目について、維持のための日常生活における取り組みの視点や悪化・重度化防止のためのリスク軽減の視点から「どのような援助を実施すること」が必要かを記入する。

課題整理総括表

利用者名

作成日

自立した日常生活の自立度④ (自身の状態・環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向		
		④	⑤	⑥			
状況の事実※1		現 在 ※2		変化 ※3	改善/悪化の予測性 ※4	備考状況・対応不内容	
認知	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
食事	食事内容	変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
	食事環境	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
排泄	排泄・排便	変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
口腔	口腔衛生	変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
睡眠		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
食器管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
開飲		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
コミュニケーション能力		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
認知		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
社会との関わり		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
排せつ・尿漏れの処理		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
行動・心理状態等※5		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
介護力/家族関係等※6		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
居宅環境		変換なし	変換あり		改善 維持 悪化		
					改善 維持 悪化		

手引きP.260～

○「利用者及び家族の生活に対する意向」欄
利用者宅の訪問や利用者・家族との面談等を通じて把握した利用者及び家族が望む生活の意向のうち、課題を抽出する上で重要と思われる情報を整理して、簡記する。
本欄に記載する情報はあくまでも課題の抽出に関わりが大きいと思われる内容のみで良く、ケアプラン第1表の「利用者及び家族の生活に対する意向」欄に記載する内容と同一である必要はない。

課題整理総括表

利用者名

作成日

自立した日常生活の自立度④ (心身の状況、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	
		④	⑤	⑥		
状況の事実※1		現 在 ※2		要 因 ※3	改善の期待の可能性 ※4	備考(状況・支援可能性)
認知	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	認知機能	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	

○「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】」欄

「見通し」欄の記入内容を踏まえて記入する。情報の収集・分析が終わった後に課題整理総括表を作成することから、利用者・家族等からの聞き取りにより、「利用者が望む生活」が捉えられていることが前提である。なお、介護支援専門員が課題整理総括表を作成するのは、サービス担当者会議(ケアプラン原案を利用者と合意する)前であるから、ここで記載する生活全般の解決すべき課題(ニーズ)は、利用者・家族等から収集した情報の分析に基づいて介護支援専門員が捉え、専門職としての判断で利用者に提案する、合意前の案であって差し支えない。

認知	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
社会との関わり	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
持病・服薬の問題	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
行動・心理状態等※5	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
経済状態	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
			改善 維持 悪化	

課題整理総括表

利用者名

作成日

自立した日常生活の自立度① (自身の状態・環境等)		②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	
④		⑤	⑥		
状況の事実 ※1	現 在 ※2		要 因 ※3	改善の期待の予測性 ※4	備考状況・対応可否等
認知	認知機能	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	認知機能	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排泄・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口唼	口唼衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
	口唼ケア	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
睡眠	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
入浴	自立 見守り 一部介助 全介助				
更衣	自立 見守り 一部介助 全介助				
掃除	自立 見守り 一部介助 全介助				
洗濯	自立 見守り 一部介助 全介助				
整理・物品の管理	自立 見守り 一部介助 全介助				
金銭管理	自立 見守り 一部介助 全介助				
運動	自立 見守り 一部介助 全介助				
コミュニケーション能力	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
認知	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
社会との関わり	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
持病・皮膚病の問題	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
行動・心理状態等P304	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
介護力・家族関係等P305	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
認知機能	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
			改善 維持 悪化		

利用者及び家族の
生活に対する意向

要領し ※5

生活全般の抱たいべき課題
【ニーズ1】

要領し ※6

○優先順位欄（※6の欄）

課題の優先順位を踏まえて、数字を記入する。
利用者としり合わせた結果、当該期間のケアプ
ランに反映しないこととした（反映できなかった）
課題については、「－」印を記入する。